

# もりや里山新聞

7/29

【土曜日】  
発行

守谷里山ネットワ

## 一、立沢里山「田んぼの学校」で田植え

今年も大井沢小(百十名)、松前台小(六七名)及び御所ヶ丘小(六九名)の三小学校五年生、計二四六名による恒例の田植えが五月八日(月)に行われました。当日は五月晴れに恵まれて、絶好の田植え日和となりました。

午前九時半には全員が揃い、大井沢小の開会宣言・司会により、

初めに立沢里山の会会長の鈴木氏から、本日の田植えは遊びではなく授業の一環であること、お米ができるまでの農家のご苦労を理解していただくこと等について挨拶がありました。続いて市農業委員会会長の海老原氏から、今年苗の状態、植え方、注意点等についてのご説明があり、早速作業に入りました。

毎年このことながら、湿田で深いため恐る恐る入りながら、キヤーキヤー、ワアーワアーの響き声が



皆で頑張った田植



こだまする中で、児童達は苗を受け取り、初めての経験に挑戦しました。最初はぎこちなかった手さばきも、先生方や里山メンバーによる指導のもと次第に慣れてきて、本当に上手に植えつけました。

各学校とも一時間半ほど、十一時頃には植え終わりました。大井

沢小だけは人数が多い分交替に苦勞がありました。よく頑張りました。

なお事前の田植え準備を二回実施しましたが、五月六日(土)には先生方と児童約三十名が参加し、農業機械の入れない田んぼの足ふみ作業による代かき、周囲の草刈りなどが行われ、こちゃんまりとした美しい田園風景が蘇りました。

閉会にあたっては、市教育委員会委員長の後藤氏から、ねぎらいと秋の収穫を楽しむようにとのご挨拶があり、事故やケガもなく無事終了しました。

最後に先生から、この取り組みについては今後各学校に持ち帰って、お米について勉強すること、また三小学校間あるいは小中学校間の連携につなげたいとのコメントをいただきました。さらに、多くの保護者の方々も参加され、大変有意義な農業体験になったことと思います。

### — 目次 —

1. 立沢里山「田んぼの学校」で田植え
2. 新規転入者歓迎行事「ようこそ守谷へ」に出展
3. 木のおもちゃ広場とワークショップ
4. 木育インストラクター養成講座
5. 親子自然体験とソーメン流し

**ボランティア募集**  
あなたも一緒に楽しみましょう!

## 守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ヶ丘 5-25-1 守谷市民活動支援センター

☎ 0297-46-3370

メール [denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)

ホームページ「野に集い野に遊ぶ」

<http://w01.tp1.jp/~a071771011/index.html>



守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/みんなで楽しく汗をかいてみたいそんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

## 「二、新規転入者歓迎行事 「ようこそ守谷へ」に出展

五月二十七日(土)常総公園総合体育館において守谷市に転入してきた家族を歓迎する恒例の「ようこそ守谷へ」が開催されました。準備打ち合わせにおいて、里山らしい展示という提案を受けて、竹林から青竹やタケノコを切り出し、桑の実、琵琶の枝などをアレンジすることになりました。

当初は前日の二六日に準備作業を予定していたのですが、あいにくの大雨となり当日のあわただしい作業となりました。当日は午前八時過ぎから作業に



竹等のオブジェと水槽の小魚



午後一時半から開会ですが、開会前からお客さんが集まっているとの呼び出しで早々に戻り、一時過ぎから始めることにしました。司会の軽快な進行でイベントが

とりかかり、モニュメント制作のほか、水槽展示するメダカ、ドジョウ、ヨシノボリなどの小魚とり、また毎年子供に好評のザリガニ釣りのため、タモで多数捕獲しました。



里山紹介ブースとザリガニ釣り



作業を終えて体育館に資材などを搬入したのはぎりぎりの十一時半頃となつてしまいました。

ブースの飾り付けは皆例年の段取りで慣れており、手際よく配置して昼食へ行きました。

午後一時半から開会ですが、開会前からお客さんが集まっているとの呼び出しで早々に戻り、一時過ぎから始めることにしました。司会の軽快な進行でイベントが

始まり、市長挨拶、市幹部紹介、各ブースの紹介などが行われました。

転入者は地区ごとに色分けされたテーブルに座り、打ち合わせや交流も行われました。

我が里山のブースでは、例年通りパネルと水槽の小魚展示のほか、マップと里山新聞の配布、子供達はザリガニ釣りに群がってきます。

ところが今年は何故か、動きが鈍く釣れません。

水を換え曝気しても変わりません。おそらく五月は脱皮してまだ間がなく活発な活動ができないのかもかもしれません。

かわりに、タライのなかでドジョウやオタマジャクシの手づかみ体験をしてもらいました。

## 里山の草花たち

この五月上旬前後、立沢里山周辺では様々な草花や新緑が目につきます。

田植えが済んだ畦や小川の土手では、ハルジオンをはじめ、ニヨイスミレ、ノミノフスマ、ムラサキサギゴケ、オオジシバリ、カワヂシャ、ヘビイチゴ、キュウリグサなどの湿生植物が白や黄色の小さな花々を一杯広げています。

また、池ではコウホネ、キシウブ、シヨウブが、さらに周辺の斜面林や屋敷林では、イヌザクラ、ウワミズザクラ、コナラなどが、林床ではイネ科のカモガヤ、イヌムギ、イチゴツナギ、カラスムギなどが春の空気を満喫しています。もうすぐ、エゴノキやイボタノキも白い花を見せてくれるでしょう。(イヌザクラ)



### 三. 木のおもちゃ広場とワークショップ

#### ワークショップ

六月十六日(木)から十八日(日)までの三日間にわたり、イオンタウンイベントコーナーにおいて「木のおもちゃ広場」が開催されました。

今年の二月に視察した東京四谷の「東京おもちゃ美術館」が子育てネットワーク「ままもり」が受け入れ主体となり、たくさんの木のおもちゃを運んで守谷にやってくるものです。今回は四回目となり、美術館から運んだ大小のユニークな木のおもちゃのほかに、県内の出展者も様々な企画で参加し



イオンタウンの木のおもちゃ広場



木のおもちゃ勢揃い



パサール守谷で竹笛ワークショップ



飾ろう♪里山の竹笛づくりが行われました。里山ネットワークは、里山から切り出した竹を使って竹笛を百個ほど制作し提供しました。サービスイリアの一角に設けられた会場では、親子で竹笛にドングリやシルなどの飾り付けをして子供の宝物に変身させる楽しい企画でした。

ました。リピータも多く最終日は父の日でもあり、親子で遊ぶ家族でにぎわいました。

里山ネットワ

ークは木のおもちゃ造りのコーナーを受け持ち、親子の作業を手助けしました。また週末は並行してパサール守谷(守谷サービスイリア上り)において「ままもり」による竹笛ワークショップ「キラキラ

### 四. 木育インストラクター養成講座

七月十五日(土) イオンタウン守谷内のホールにおいて「木育インストラクター養成講座」が行われました。主催はNPO「芸術遊び創造協会」、講師は岐阜県木育推進委員の福島計一さん。

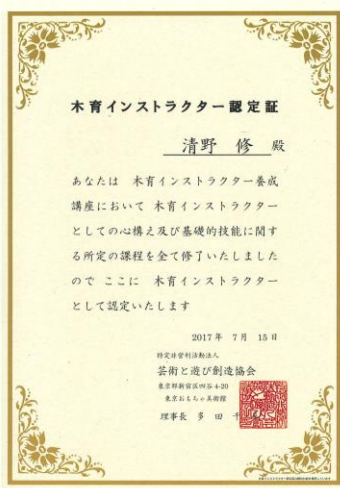
午前中は木育概論として森林の役割、木材の効用などの基礎座学、午後はグループに別れて、木材を実際に使用しての「水の積木づくり」などの実習や、「木育プログラム」などの課題研究など、木育に関する実践的な内容でした。最後に「木育インストラクター認定

証」が一人ひとり手渡されました。

養成講座風景



水の積木づくり



木育インストラクター認定証

清野 修 殿

あなたは 木育インストラクター養成講座において 木育インストラクターとしての心構え及び基礎的技能に関する所定の課程を全て修了いたしましたのでここに 木育インストラクターとして認定いたします

2017年 7月 15日

認定発給機関  
芸術と遊び創造協会  
東京おもちゃ美術館  
理事長 多田

### 五. 親子自然体験とソーメン流し

七月二十六日(水)立沢里山で子供たちの自然体験とソーメン流しを行いました。夜半から大雨で心配しましたが、午後は上がるとの情報で決行することになりました。暑さの厳しい時期なので幼児のためにあらかじめテントを張っていることから、雨天でもかんかん照りでも準備は大丈夫です。



何でも流れてくるそめん流し



足場が悪いので雨具と長くつを持参しました。今年は最初にソーメン流しをしました。数日前に青竹を里山から切り出して半割にし、節を削って長さ十六メートルの長いスロープ掛樋を制作しました。

毎年ソーメンだけでなくブドウ、ブルーベリー、ミニトマトなどを流すと子供達は大喜びです。今年は輪切りのトウモロコシが加わり、はたして流れるものかと心配しましたが、ころころと猛スピードで転がりました。大きな子はお腹いっぱいになり、もう食べれないと言いつつ、すくうのが楽しくて離れません。その後は笹舟を手作りして小川で流します。雨上がりで水がきれいでも流量も豊富なことから、子供達は自分で流した笹舟を追いかけて土手道を走り廻ります。今年是小川の水位が高かったので水上パネルは中止しました。

その後は、ザリガニつり、メダカ採り、猫じゃらしの草競馬、水鉄砲やツリーデッキにのぼるなど親子で自由に遊びました。最後にスイカ割を行い皆で食べました。予定の時間となり終了しようとする中、何人かの子供が寄ってきて、最後にもう一回笹舟を作って流したいとのアンコールがあり、再度皆で笹舟流しをしました。雨上がりで泥だらけになりながら



笹舟流し



楽しい自然体験ができました。

ツリーデッキ



### 六. 野木崎斜面林管理作業

7月26日に予定していましたが、雨天で中止となりました。

#### 【編集後記】

守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。こちらまで メール⇒ [denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)